

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		創業100余年の歴史を元に今後の会社の目指す方向性を明確にし会社及び関連企業とも共有している。 会社の将来的に進むグルテンフリー商品開発や技術開発にチャレンジする精神が形成されている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守の規定及び重要性を、朝の打ち合わせ等で従業員に発信し、認識させている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引を行い、また仕入れ先等に関しても公正な価格での取引を行い従業員と情報の共有チェックを行っている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		工場長・事務長・クリーンルーム室担当を任命し、部署ごとに体制を整備している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産・特許・商標などに関する研修や勉強会を実施している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		顧客情報等を管理し、朝の打ち合わせ等で従業員に発信し、情報漏洩防止を徹底している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		定期的なステークホルダーとのコミュニケーション等で状況等を把握したり、また大手取引先・個人取引先及び行政機関等ステークホルダーと連携した取り組みを行っている。 定期的にステークホルダーと在庫管理やエコバック教室等の連携した取り組みを行っている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●											9				13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	5代目後継者の指導・育成に取り組み継承を行っている。 中小企業大学等を活用し事業継承を進めている。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		職場環境や男女共同参画等差別しない体制・運営を行っている。 (ジェンダーにとらわれない業務の分担制)				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		メンタルヘルスを確保するために、職場での心理的安全性実現に向けた管理職教育や啓発活動を行っている。 また適切な休息をとり、休日にはしっかり休み、リフレッシュをする時間を確保している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員(正社員・パート・バイト)の公正な待遇を行っている。 (職務内容・能力・成果に応じた報酬体制。差別・ハラスメントない環境。)					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		業務効率化に努め、残業を無くして働き方改革の取り組みを行っている。 特に時間の調整を行い、遅出や早めの退社等を行っている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		外部研修等(中小企業大学など)の受講の推奨等を行っている。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎日朝礼や退社時における交通事故等の注意喚起や健康増進への取り組みの推進を行っている。 地元スポーツ団体への参加等行い健康を維持できるようにしている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	2025年7月に自社ホームページを開設している。 またメール等での取引や、ウェブ会議を行っている。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	オンライン化を行い、業務の効率化やBtoC等のビジネスモデルの変革を行っている。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12					

チャレンジ項目記入数

13

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物等の管理・処理に適切に取り組んでいる。 粗米粉はジビエ館への転換、米ぬか等はぼかし肥料への転換を各業者にて管理し処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		工場内照明をLED照明にしている。 電力会社使用明細を元に使用量を把握している。							7.3						13		
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		事務所・会議室等のエアコンの設定温度を推奨温度に設定している。 また、社用車としてハイブリッド車を導入しCO2量の削減を行っている。 電力会社使用明細を元に使用量を把握している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		レジ袋の配付を取りやめている。 また、事業所内の緑地等の整備を年2回程度実施している。						6.6								14	15
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化、裏紙の利用を推進している。 使用済み米袋(資源利用)をエコバックとして再利用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		業務における「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 事業所内工場の一部では節水器具を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		食品ロス削減策として、粗米粉を家畜のえさとして使用するなど有効活用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	規格外や未利用の農林水産物(米・野菜等)を有効活用している。 農家等のクズ米等を加工し米粉にして交換している。	1	2				6.4						12.3		14	15
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3		
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	事務所等の壁など、熊本県産材の利用を推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14	
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3		
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 合資会社 中村製粉

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数613

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		提供する製品のサービス向上のため、HPでのアンケートや問い合わせ等を活用し、顧客の意見等を聞き関係者で共有し活用している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		2025年7月の自社ホームページ開設にあたり、ユニバーサルデザインフォントの導入を行う。									9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地域地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	提供する製品の原材料は、県産米や野菜等を活用している。							7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	事務所等の壁等に県産材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	2020年から災害食やローリングストック食として商品開発や販売をしている。 特に離乳食は年間2回のローリングストック食であり、1回目は男女共同参画事業へ、2回目は防災訓練時での参加者への配付を行う予定である。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●	農商工連携による新たな商品開発を行っている。(離乳食や介護食等)									8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員に対し居住する地域の活動に参画するよう推進している。 地域の防災活動や自治会活動に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		定期的に避難訓練等を行ってる。 事業所において防災グッズ等を常備している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	災害時での防災食(離乳食や介護食)を開発し販売している。 地元自治体ではローリングストック食として採用して頂いている。										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	廃棄袋等を活用しエコバック作成を行い、SDGsの普及活動や教育機会の提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	学童保育等と連携しワークショップ等を開催している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	地元の農水産物を通じた食育体験等に取り組んでいる。(デコレーションだんご等)		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

25

25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

3